

思い出の1ページ



腹栄中学校

夏休み直前、生徒と先生の意見交流会

～「夢づくりトーク」をもとに自分達ができることは～

7月16日、中学3年生と中逸町長が意見交換を行う「夢づくりトーク」（広報ながす8月号に記載）をもとに7月19日に意見交流会を行いました。この会は生徒一人一人の夢の実現ができる学校づくりを目指し、夏休みまでの取り組みを振り返り、生徒と教員が意見を出し合い、よりよい腹栄中学校にしようとする会で、3年前から始まりました。



▲生徒会部会での意見の集約と今後の取り組みについて「学ボード」を使ってまとめている場面

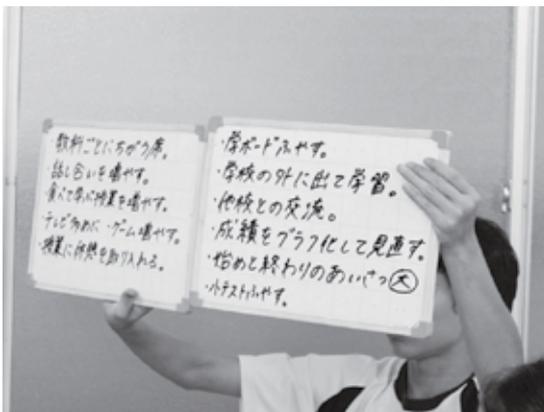
生徒代表と教員が校訓の思い「自主・生气・創造」を意識し、「実践できるには?」「一人一人の個性を大切に協働するには?」などを念頭に家庭学習部会、授業部会、生徒部会の3部会に分かれて、それぞれの部会でグループ協議を行い、考えをまとめ、夏休み明けからの実践内容を見つけていきました。一部を紹介します。

生徒会部会：活動をアピールする場面や場所を増やす。

授業部会：「学ボード」を活用する場面を増やす。

※「学ボード」とはグループで意見交換を行う時に使用する携帯のホワイトボードのことです。

家庭学習部会：スマホ、漫画、テレビから離れて学習する。夏休み明けの学校が楽しみです。



▲授業部会でグループで出た意見を他のグループに紹介している場面



長洲中学校

大分県宇佐市立長洲中学校との交流会を通して

長洲町立長洲中学校 3年
川端 建吾 (かわばた けんご)

8月2日(金)に大分県宇佐市立長洲中学校との交流会を行いました。交流を通して、宇佐市立長洲中学校の良さや自分たちの学校の良さなどを改めて知ることができました。交流会では両校の行っている活動や特色、住んでいる地域の紹介をしました。その後のグループ協議では、両校の生徒会による協議をランチミーティングの形で行いました。協議の中で一番驚いたことは、「両校の課題」について意見交換するとき、宇佐市立長洲中学校は「課題は、特に何もありません」と回答したことです。自分たちの学校は課題が多いので、宇佐市立長洲中学校に負けないように、これからはもっと充実した活動を行っていきたいと思いました。

この交流会は十年以上続いている伝統のある活動です。これからも内容をさらに充実させ、何十年も続くような素晴らしい活動にしていきたいです。

